

# 石高神社

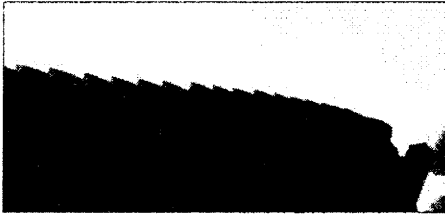
## 第三十七号

発行日 平成三十年十二月一日  
発行者 石高神社 宮司 高原 章兆  
発行所 岡山市中区円山八五三  
電話 〇八六一二七七一九〇〇三

西日本豪雨で被災された方々にお見舞い申し上げます。

### 屋根葺き替えについて

拝殿の屋根瓦がずれてきており、今にも落ちそうになっていきます。随身門修理のときに応急処置をしましたが、再び危険な状態になりました。釣殿の出入口上の瓦数枚は、大阪地震の数日前に落下して割れました。釣殿には雨漏りする箇所もあります。早いうちに修理しておかないと、かえって莫大な費用がかかるようになってしまいます。つきましては真に心苦しいのですが、氏子の皆様のご寄進に頼るはかありません。私達は氏神さまに守っていただけて生きていくという思いをお持ちくださいまし



て、どうかご支援をお願い申し上げます。修理見積額は、消費税抜きで約九八〇万円です。鬼瓦・棟瓦以外は新しい淡路いぶし瓦を使用します。詳細につきましては、来年春の総代会で決めることにいたします。その節はどうかよろしくお願い申し上げます。

### 神社の起源 ③

#### 律令国家の時代

神道は日本民族の間に自然に生まれ育った信仰です。教祖も無く固定化した教義もありませんでした。それが律令国家の神祇制度(官社制)の中で、仏教建築の影響を受けながら、恒常的な建物をもった神社として定着していったと考えられます。また、次第に国家形成の成り立ちや神々の系譜などが考えられるようになり、古事記・日本書紀が編纂されました。そして、神代に功績のあった天つ神・国つ神を祀るとともに、一族の繁栄を願って氏族の祖先神を氏神として祀ったり、自然を支配する神を称えたり、神の祟りを恐れて祀るなど、様々な祀り方がある

されてきました。

その後、平安時代初期に出された法律集の延喜式（九二七年）では、朝廷が崇めることを定めた神社（式内社）や祭祀にかかわる規定が定められました。中央に報告された式内社以外の神社も多くあり、備前国神名帳（八六三年ごろ）には百二十八社載っています。当社もそのうちの神社です。

### 御世替り

### 国いちばんの祭

### 大嘗祭

来年四月三十日に平成天皇の退位礼、十月二十二日には新天皇の即位礼が行われます。

即位礼の後には、一代一度即位後初めての新嘗祭であります。大嘗祭が行われます。この祭では、新穀を天照大神達神々にお供えして五穀豊穰を感謝し、世の中の平穏と繁栄が祈られます。即位礼・大嘗祭と一連の儀式を合わせて御大礼または御大典と称されます。

世界にはさまざまな国があり、国王自身の手による宣誓や聖職者の手による戴冠など、それぞれの国がその歴史や文化のなかで育んできた方法で即位の儀式を行っています。日本では、新天皇自身が挙行する全国的な秋祭りを特に重要なものとしてきました。

### 宮山の立木伐採と枝打ち

今年の三月ごろ表参道東側の大きくなり過ぎた数十本の木を伐採しました。樹種は、ほとんどがカシで、他はクヌギ、カクレミノ、クスでした。道路近くの木は電線があって切ることができずにいます。昔のように見晴らしがよくなり、児島半島や小豆島も見えるようになりました。

宮山の他の場所の木も大きくなり過ぎています。昔はほとんどの木がマツで、たきぎに利用していましたが、今はほとんどが広葉樹でドンドン大きくなるばかりです。引き続き人的・経済的に可能な限り伐採しておかなくてはいけないと考えています。

これとは別に毎年十二月第一日曜日（来年は一日を避けて第二日曜日）に下草刈りと枝打ちをしています。これは氏子の



皆様のご奉仕に頼っています。引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、伐った木が必要な方はお持ち帰りください。運ぶのが大変ですが、燃料として利用できます。

## 石高神社の行事

### ◎歳旦祭および初詣

一月一日午前零時から一時ごろまでと三が日の午前九時ごろから夕方五時ごろまで、新年の家内安全祈禱を承っています。

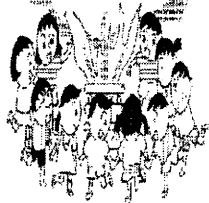
### ◎どんど祭および古神札焼却祭

正月のお飾りのほか、古い御神札・お守りの焼却もを行います。古い御神札・お守りは、八日頃までにお納めください。

### 平成三十一年のどんど祭

一月十四日(月) 成人の日

午前十時から



### ◎厄祓い

厄年には、その年に災いが起こらないように、神社などでお祓いを受ける慣習があります。一般には元日から節分のころまでにお参りします。

### 平成31年の厄年祝年

厄年祝年	生まれた年
女19歳	平成13年
男25歳	平成7年
女33歳	昭和62年
男42歳	昭和53年
還暦祝	昭和34年
古希祝	昭和25年
喜寿祝	昭和18年
傘寿祝	昭和15年
米寿祝	昭和7年
卒寿祝	昭和5年
白寿祝	大正10年

### ◎夏祭り(輪くぐり)

毎年七月三十一日の晩です。茅の輪をくぐることで、疫病を予防して健康に過ごせることを祈り、「ひとがた」に諸々の厄災を乗り移らせて退散させる祭りです。

### ◎秋祭り

毎年十月三日から五日の三日間です。このうち三日の晩が氏子参りの日になっており、夜店が出ます。五日には氏子総代が参列して祭典を行います。

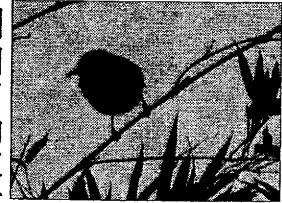
### ◎七五三詣

氏神様にお参りし、ここまで成長したお礼を述べ、以後の無病息災を祈願する慣習です。十一月十五日前後にお参りします。

その他、初宮参り、当病平癒祈願、自動車清祓、家祈祷、地鎮祭、各種清め祓い、神葬祭など随時承っております。お電話でご相談ください。宮司と権禰宜の二名の神職でご奉仕しています。

# 境内の生物 ⑪ ウグイス

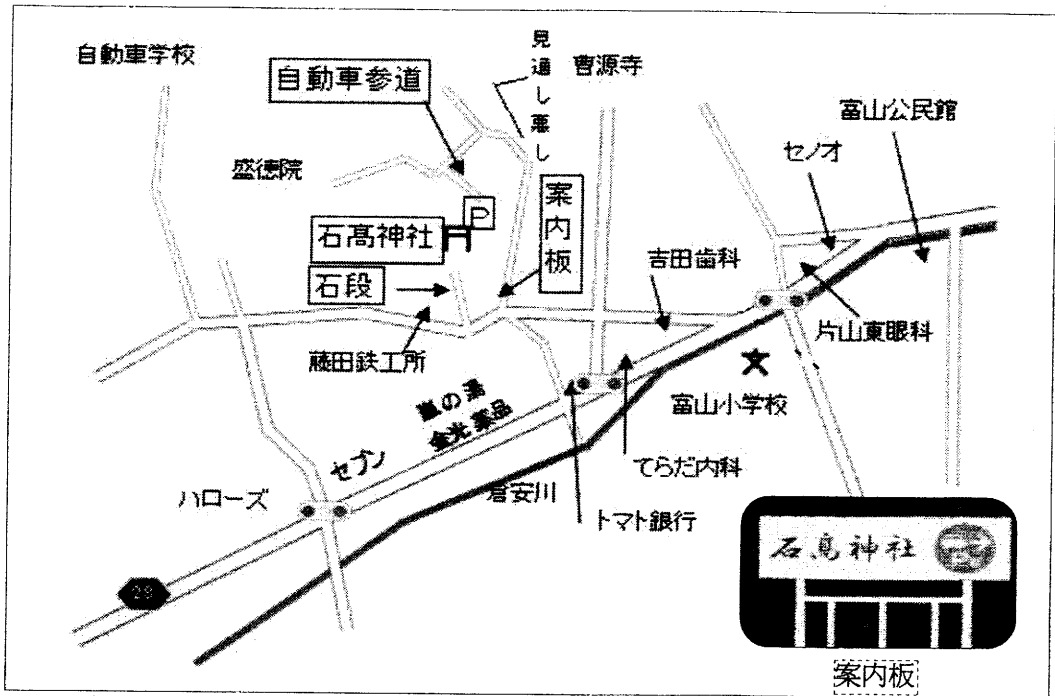
一年中この辺りに住んでいるヒタキ科の留鳥です。スズメくらいの大きさで、オリーブ色を帯びた茶褐色です。四月から七月ごろまで「ホーホケキョ」というさえずりが聞こえます。春の早朝には、宮司宅西の竹藪に一時間おきに来て鳴いていました。円山自動車学校と曹源寺のあたりでも同時に鳴声が聞こえていましたので、なわばりの範囲が推測できました。姿を見せるのはオスだけで、メスは藪の中に潜んでいるといえます。



## 石高神社への道案内

当社の南側と西側には、石段を上がる参道があります。自動車でお参りの場合は、宮山の東側を山に沿って進むと北側から山に上がる道があります。少し上った左側の空き地または右にもう少し上がった本殿の裏に駐車できます。さらに南に進むことができますが、行き止まりになります。正月の昼間には混雑が予想されます。帰る方を優先に譲り合いをお

ホームページ <http://ishitakajinja.web.fc2.com/>



願いたします。また、宮山の東北のカーブは見通しが悪いのでお気をつけください。